

オーディオディレイボックス

AD-300



取扱説明書

datavideo
JAPAN

www.datavideo.jp

目次

内容物.....	2
概要.....	3
特長.....	3
セットアップ例.....	3
各部の名称および機能.....	4
■フロントパネル.....	4
■リアパネル.....	5
メニュー機能.....	6
音量.....	9
ミキサー.....	9
ディレイタイム.....	9
トーンモード.....	10
イコライザー.....	10
効果.....	11
コンプレッサー.....	11
エキスパンダー.....	12
リミッター.....	13
ゲート.....	14
フィルター.....	14
システム.....	14
ファームウェアの更新.....	15
手順.....	16
寸法.....	17
仕様.....	18
サポート窓口.....	19

内容物

製品には下記の部品が含まれます。いずれかの部品が同梱されていない場合は、取扱店まですぐにご連絡下さい。

番号	品 名	数量
1	AD-300 本体	1
2	AC/DC 変換アダプタ (DC12V / 2.0A)	1
3	取扱説明書 (本書)	1

概要

Datavideo AD-300 Pro オーディオディレイボックスを使用すると、オーディオまたはマイク信号をビデオに同期させることができます。オーディオディレイだけではなく、5つのオーディオ入力チャンネルから2つのオーディオ出力チャンネルの柔軟なマトリックスマッピングを提供するオーディオミキサーでもあります。

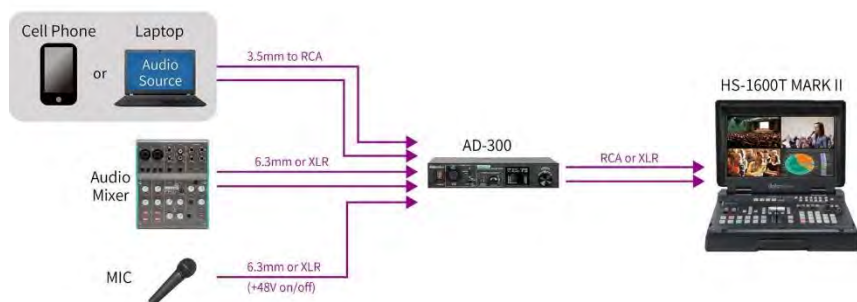
AD-300 は、最大 3000ms のオーディオディレイ時間を提供します。さらに、オーディオレベルの調整とゲイン制御もサポートし、制限、イコライゼーション、フィルタリング、圧縮、拡張などの高度なオーディオ処理機能を備えています。

頑丈な金属製の筐体に収納された AD-300 は、スタジオやフィールドでの使用に最適です。

特長

- 入力を 2 つのオーディオ出力チャンネルにマッピングする 5 チャンネルオーディオミキサーマトリックス。
- オーディオ入力チャンネルごとに最大 3 秒の遅延をサポートします。
- 組み込みのバランスおよびアンバランスオーディオ変換。
- オーディオプロセッサ：コンプレッサー、リミッター、ゲート、エキスパンダー、フィルター、イコライザー
- 各オーディオ入力チャンネルの音量調整。
- オーディオゲインコントロール
- マイクとオーディオラインのコンボジット入力。
- XLR/MIC IN および +48V ファンタム電源をサポートします。
- OSD メニューとモード選択用の LCD ディスプレイ。
- スタンドアロンまたはラックマウント設計。1080p50/60 入力信号に対応

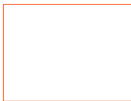
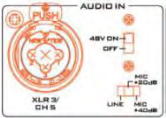
セットアップ例



各部の名称および機能

■フロントパネル



 POWER	電源オン/オフスイッチ 電源のオン/オフを切り替えます
 MENU SETTING	メニューナビゲーションノブ ノブを押して、LCD 画面の OSD メニューを表示します。 ノブを回転してメニューをナビゲートし、ノブを押してメニューオプションを選択します。 詳細については、メニュー機能を参照してください。
	液晶画面 メニューモード以外では、LCD 画面に入力および出力の音量レベルバーが表示されます。 モニターしているチャンネルとその音量は、LCD 画面の上部に表示されます。
 MONITOR SOURCE HEADPHONE VOLUME	ヘッドホンジャック/ボリュームコントロールノブ ヘッドホンジャックは、ステレオヘッドホンからのステレオミニジャックプラグを入力します。オーディオ入力チャンネル 1~5 とオーディオ出力チャンネル 1~2 を監視できます。 ボリュームコントロールノブを押して、これらのオーディオチャンネルを切り替えます。ヘッドホンの音量は、音量調節つまみを回して調整できます。
 AUDIO IN 48V ON/OFF XLR 3/CH 5	オーディオ入力 (XLR 3 / CH 5) XLR バランスオーディオ入力チャンネルを使用すると、オーディオデバイス、コンデンサーマイク、ダイナミックマイクを接続できます。 AUDIO IN を設定するためのスイッチには 2 つのタイプがあります。 LINE / MIC + 20dB / MIC + 40dB スイッチは、AUDIO IN を LINE IN、20dB プリアンプの MIC IN、または 40dB プリアンプの MIC IN に設定するために使用されます。LINE IN を選択した場合は、過大な電流によるオーディオ機器の損傷を防ぐため、48V スイッチは OFF にしてください。 48V スイッチは、ファンタム電源制御用に特別に設計されています。 MIC IN を選択した場合、コンデンサーマイクを使用する場合は 48V スイッチを ON に、ダイナミックマイクを使用する場合は OFF に設定してください。 注：一部の MIC にはバッテリーが内蔵されている場合があるため、マイクのマニュアルで適切な入力電圧レベルを確認し、ファンタム電源に関するマニュアルのアドバイスを参照して下さい。

■ リアパネル



 DC IN 12V	DC IN ソケット 付属の 12V 電源をこのソケットに接続します。 電源接続は、DC IN プラグの外側固定リングをソケットにねじ込むことで固定できます。
	音声出力 CH1 / L および CH2 / R ポートは、混合またはディレイオーディオ出力をスイッチャーに提供する 2 つの XLR バランスオーディオ出力チャネルです。 L ポートと R ポートは、2 つの RCA アンバランスオーディオ出力チャネルであり、混合またはディレイオーディオ出力を提供します。 注：4dBu (XLR) = -10dBV (RCA)
	音声入力 XLR 2 / CH4 と XLR1 / CH 3 は 2 つの XLR バランスオーディオ入力チャネルであり、それぞれオーディオデバイスまたはコンデンサーマイクまたはダイナミックマイクを接続できます。 AUDIO IN を設定するためのスイッチには 2 つのタイプがあります。 LINE / MIC + 20dB / MIC + 40dB スイッチは、AUDIO IN を LINE IN、20dB プリアンプの MIC IN、または 40dB プリアンプの MIC IN に設定するために使用されます。 LINE IN を選択した場合は、過大な電流による接続オーディオ機器の損傷を防ぐため、48V スイッチを OFF にしてください。 48V スイッチは、ファンタム電源制御用に特別に設計されています。 MIC IN を選択した場合、コンデンサーマイクを使用する場合は 48V スイッチを ON に、ダイナミックマイクを使用する場合は OFF に設定してください。 注：一部の MIC にはバッテリーが内蔵されている場合があるため、マイクのマニュアルで適切な入力電圧レベルを確認し、ファンタム電源に関するマニュアルのアドバイスを参照して下さい。 L / CH1 と R / CH2 は、オーディオデバイスを接続できる 2 つの RCA アンバランスオーディオ入力チャネルです。
F/W UPGRADE 	F / W アップグレード F / W アップグレードポートを使用すると、ファームウェアアップグレード用に外付け USB ドライブを接続できます。詳細については、ファームウェアの更新を参照してください。
 DVIP	DVIP（将来対応予定）

メニュー機能

メイン	サブ	パラメーター	パラメーター
音量	RCA-L	-80-12db	最大音量は、 ゲイン制限で 6 または 12dB に設定できます。
	RCA-R	-80-12db	
	XLR-1	-80-12db	
	XLR-2	-80-12db	
	XLR-3	-80-12db	
	出力	-80-12db	
	ゲイン制限	RCA-L	+6db +12db
		RCA-R	+6db +12db
		XLR-1	+6db +12db
		XLR-2	+6db +12db
		XLR-3	+6db +12db
出力		+6db +12db	
モニター		+6db +12db	
ESCAPE			
ESCAPE			
ミキサー	OUT-L	☐ =L/OFF ☐ =R/OFF ☐ =1/OFF ☐ =2/OFF ☐ =3/OFF ☐ =T/OFF	
	OUT-R	☐ =L/OFF ☐ =R/OFF ☐ =1/OFF ☐ =2/OFF ☐ =3/OFF ☐ =T/OFF	
	ESCAPE		
ディレイタイム	RCA-L	0-3000 msec	
	RCA-R	0-3000 msec	
	XLR-1	0-3000 msec	
	XLR-2	0-3000 msec	
	XLR-3	0-3000 msec	
	ESCAPE		
トーンモード	FREQ	20-20,000 Hz	
	LEVEL	-64-+24 dBu	-78-+10 dBV
	ESCAPE		
		125 Hz	-10-+10 db

イコライザー	RCA-L-equalizer	250 Hz	-10-+10 db
		500 Hz	-10-+10 db
		1 kHz	-10-+10 db
		2 kHz	-10-+10 db
		4 kHz	-10-+10 db
		8 kHz	-10-+10 db
		16 kHz	-10-+10 db
		ESCAPE	
	RCA-R-equalizer	125 Hz	-10-+10 db
		250 Hz	-10-+10 db
		500 Hz	-10-+10 db
		1 kHz	-10-+10 db
		2 kHz	-10-+10 db
		4 kHz	-10-+10 db
		8 kHz	-10-+10 db
		16 kHz	-10-+10 db
	ESCAPE		
	XLR-1-equalizer	125 Hz	-10-+10 db
		250 Hz	-10-+10 db
		500 Hz	-10-+10 db
		1 kHz	-10-+10 db
		2 kHz	-10-+10 db
		4 kHz	-10-+10 db
		8 kHz	-10-+10 db
		16 kHz	-10-+10 db
	ESCAPE		
	XLR-2--equalizer	125 Hz	-10-+10 db
		250 Hz	-10-+10 db
		500 Hz	-10-+10 db
		1 kHz	-10-+10 db
		2 kHz	-10-+10 db
		4 kHz	-10-+10 db
		8 kHz	-10-+10 db
		16 kHz	-10-+10 db
	ESCAPE		
	XLR-3--equalizer	125 Hz	-10-+10 db
		250 Hz	-10-+10 db
		500 Hz	-10-+10 db
		1 kHz	-10-+10 db
		2 kHz	-10-+10 db
		4 kHz	-10-+10 db
		8 kHz	-10-+10 db
		16 kHz	-10-+10 db
	ESCAPE		
	ESCAPE		
		しきい値	+21－0 dBu OFF

エフェクト	コンプレッサー (RCA-L/RCA-R/XLR-1/XLR-2/ XLR-3)	比率	1:1 1.6:1 2:1 4:1 8:1 16:1 32:1 64:1 100:1
		Attack Time	50-500ms
		Decay Time (減衰)	300-2000ms
		ESCAPE	
	エキスパンダー (RCA-L/RCA-R/XLR-1/XLR-2/ XLR-3)	しきい値	-48 -- 66 dBu OFF
		比率	1:1 1.6:1 2:1 4:1 8:1 16:1 32:1 64:1 100:1
		Attack Time	50-500ms
		Decay Time (減衰)	300-2000ms
		ESCAPE	
	リミッター (RCA-L/RCA-R/XLR-1/XLR-2/ XLR-3)	しきい値	-6 -- +24 dBu OFF
		Attack Time	50-500ms
		Decay Time (減衰)	300-2000ms
		ESCAPE	
	ゲート (RCA-L/RCA-R/XLR-1/XLR-2/ XLR-3)	しきい値	-28 -- 88 dBu OFF
		Attack Time	50-500ms
		Decay Time (減衰)	300-2000ms
		ESCAPE	
	フィルター (RCA-L/RCA-R/XLR-1/XLR-2/ XLR-3)	Low-Pass	10 – 20,000 Hz OFF
		High-Pass	10 – 20,000 Hz OFF
		ESCAPE	
	ESCAPE		
システム	Bright	5-100%	
	Dimmer	5-100%	
	LVL OSD	ON/OFF	
	dBu OSD	ON/OFF	
	LCD TEST	Red Green Blue Black White	
	Update Software		
	Reset All	ON	
	Output VR Lock	ON/OFF	
	ESCAPE		

音量

VOLUME はオーディオ I / O の音量を設定します。

以下の手順に従って、I / O チャンネルの最大ゲインを選択します。

- ①MENU SETTING ノブを押して、システム構成メニューを選択します。
- ②MENU SETTING ノブを GAIN LIMIT まで回してから、MENU SETTING ノブをもう一度押して、GAIN LIMIT サブメニューを選択します。
- ③このサブメニューでは、次のように 5 つのオーディオ入力、1 つのオーディオ出力、およびヘッドフォン出力の最大ゲインを選択できます。
 - ・ RCA-L
 - ・ RCA-R
 - ・ XLR-1
 - ・ XLR-2
 - ・ XLR-3
 - ・ 出力
 - ・ モニターソース
- ④MENU SETTING ノブを目的のオーディオチャンネルまで回し、ノブを押して選択します。
- ⑤6dB と 12dB を切り替え、ノブを押して選択します。
- ⑥エスケープを選択して終了し、ボリューム サブメニューに戻ります。

ミキサー

AD-300 は、1 つまたは複数の入力チャンネルを 1 つの出力チャンネルに結合するミキサーとしても使用できます。

入力チャンネルのさまざまな組み合わせを出力チャンネル L と R にミックスできます。

ミキサーを設定するには、以下の手順に従います。

- ①MENU SETTING ノブを押して、システム構成メニューを選択します。
- ②MENU SETTING ノブを MIXER まで回し、MENU SETTING ノブをもう一度押して MIXER サブメニューにアクセスします。
- ③2 つのミキサーがあります。1 つはオーディオ出力 L 用で、もう 1 つはオーディオ出力 R 用です。
- ④ミキサーを選択し、□で入力チャンネルまたはテストトーンを有効にしてミキシングの組み合わせを設定します。
- ⑤使用可能なオプションは、次の順序でリストされています。
 - L = RCA-L
 - R = RCA-R
 - 1 = XLR-1
 - 2 = XLR-2
 - 3 = XLR-3
 - T = テストトーン

※注意：空の四角（・）は、入力チャンネルが無効になっていることを示します。

完了したら、[エスケープ]を選択して終了し、メインメニューに戻ります。

ディレイタイム

ディレイタイムは、入力チャンネルのディレイタイムを設定します。

RCA-L/ CH 1
RCA-R/ CH 2
XLR-1/ CH 3
XLR-2/ CH 4
XLR-3/ CH 5

以下の手順に従って、入力チャンネルのディレイを調整します。

- ①MENU SETTING ノブを押して、システム構成メニューを表示します。
- ②MENU SETTING ノブを DELAYTIME まで回します。
- ③MENU SETTING ノブを押して、DELAYTIME サブメニューを開きます。
- ④MENU SETTING ノブを、遅らせたいオーディオ入力チャンネルまで回します。
- ⑤MENU SETTING ノブを押してオーディオ入力チャンネルを選択し、ディレイを調整します。
ディレイの選択可能な範囲は 0～3000 ミリ秒です。
- ⑥ESCAPE を選択して終了し、メインメニューに戻ります。

トーンモード

オーディオテストトーンは、内蔵されたテスト用音声です。

オーディオ信号またはオーディオハードウェアシステムのテストするために使用される正弦波トーンがあります。また、オーディオシステムの障害を特定するためにも使用できます。

AD-300 は、20 Hz～20kHz の範囲の正弦波テストトーンを提供します。

使用するトーンがわからない場合は、1kHz が安全です。

以下に概説する手順に従って、テストトーンを設定します。

- ①MENU SETTING ノブを押して、システム構成メニューを表示します。
- ②MENU SETTING ノブで TONE MODE にを選択します。
- ③MENU SETTING ノブを押して、TONEMODE サブメニューを開きます。
- ④FREQ を選択して、トーン出力の周波数を選択します。
- ⑤LEVEL を使用すると、トーン出力の音量を-48 dBu～ + 24dBu の範囲で設定できます。
- ⑥ESCAPE を選択して終了し、メインメニューに戻ります。

※注意：

AD-300 はオーディオディレイデバイスですがトーンジェネレーターとしても使用できます。

AD-300 をヘッドセットやスピーカーのセットに直接接続しないでください。

オーディオアンプのように使用しないでください。

イコライザー

イコライザーを使用すると、不要なサウンドを削減したり、特定の周波数で特定のサウンドをより目立たせることで、オーディオ入力をカスタマイズできます。

一般的に確立されている可聴周波数範囲は 20Hz～20,000 Hz であり、その範囲内に、音の均等化のために定義された周波数の 7 つのサブセットがあります。

説明については、以下の表を参照してください。

周波数範囲	説明
16 - 60 Hz	コントラバス、 チューバ、ベースギターなどの 低音域
60 - 250 Hz	通常の話し声域
250 Hz - 500 kHz	典型的な金管楽器とアルトサックスなどの木管楽器
500 - 2 kHz	ヴァイオリンと ピッコロのハーモニクス
2 - 4 kHz	トランペットの倍音
4 - 6 kHz	ヴァイオリンとピッコロの ハーモニクス
6 - 20 kHz	ホイッスル、笛など

以下に概説する手順に従って、特定の入力チャンネルのイコライザーを構成します。

- ①MENUSETTING ノブを押して、システム構成メニューを表示します。
- ②MENUSETTING ノブをイコライザーまで回します。
- ③MENUSETTING ノブを押して、イコライザーサブメニューを開きます。
- ④MENUSETTING ノブを、イコライザーを適用するオーディオ入力チャンネルまで回します。
 - ・RCA-L-イコライザー
 - ・RCA-R-イコライザー
 - ・XLR-1-イコライザー
 - ・XLR-2-イコライザー
 - ・XLR-3-イコライザー
- ⑤MENU SETTING ノブを押して、オーディオ入力チャンネルを選択します。
- ⑥MENU SETTING ノブを特定の周波数範囲まで回してから、MENU SETTING ノブを押して選択します。

※使用可能な周波数範囲は次のとおりです。

125Hz、250Hz、500Hz、1kHz、2kHz、4kHz、8kHz、16kHz
- ⑦最後に、MENU SETTING ノブを回して、
- ⑧選択した周波数範囲の減衰係数または増幅係数（-10 dB～ + 10 dB）を設定します。
- ⑨ESCAPE を選択して終了し、メインメニューに戻ります。

効果

ダイナミックエフェクトは、オーディオミキシングで重要な役割を果たします。これらは、オーディオ信号のダイナミックレンジを変更するように設計されています。コンプレッサー、リミッター、エキスパンダー、ゲートの4つの主要なダイナミックエフェクトがあります。

コンプレッサー

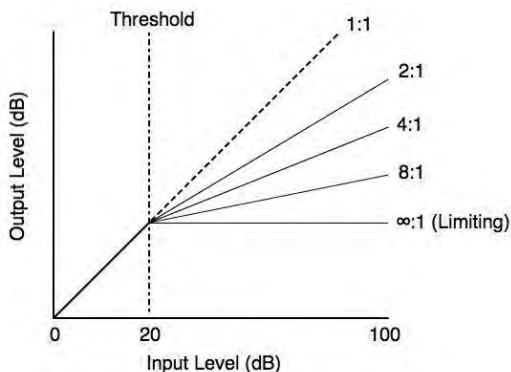
圧縮のプロセスにより、オーディオ信号の大音量セクションのレベルが低下しますが、低レベルは変更されないため、ダイナミックレンジが低下します。

- しきい値：しきい値コントロールは、それを超えると圧縮が行われるレベルを設定します。オーディオ信号がしきい値レベルを下回っている場合、オーディオ信号は圧縮されません。

オーディオ信号は、しきい値を超えると、圧縮率（詳細については「比率」を参照）によって圧縮されます。

AD-300 は、0 ~ + 21dBu のしきい値範囲を提供します。OFF に設定すると、コンプレッサーが無効になります。

- 比率：圧縮比率は、オーディオ信号がしきい値レベルを超えたときにコンプレッサーが適用するゲインリダクションの量を決定します。たとえば、比率が 4 : 1 の場合、信号がしきい値を 4 dB 超えた場合、コンプレッサーからの出力信号はしきい値より 1dB だけ高くなります。



AD-300 で使用可能な圧縮率は次のとおりです。

- 1 : 1 は圧縮を適用しません。
しきい値レベルに関係なく、入力レベルと出力レベルは同じままです。
- 1.6 : 1 は微妙な圧縮を適用します。
この比率は穏やかで透明な響きです。
- 2 : 1 は軽い圧縮を適用します。
この比率は、トーンやパンチに目立った変化を引き起こすことなく、ダイナミクスをスムーズに制御します。
- 4 : 1 は中程度の圧縮を適用します。
この比率の設定は少し積極的です。自然なダイナミクスを維持しながら、穏やかな過渡制御を適用します。
- 8 : 1 は中程度の圧縮を適用します。
この比率は、トランジェントをより厳密に制御します。トーン、パンチ、ラウドネスに微妙な変化があります。
- 16 : 1 は重い圧縮を適用します。
この比率は積極的です。
ダイナミックレンジが劇的に減少し、強く押すと信号のパンチ、明瞭さ、存在感が失われます。
- 32/ 64/ 100 : 1 には制限があります。
100 : 1 の場合、コンプレッサーは基本的に信号がしきい値を超えるのをブロックします。

アタックタイム（50～500 ミリ秒）は、

コンプレッサーが圧縮比に基づいてゲインリダクションを完了するのにかかる時間です。

減衰時間またはリリース時間（300～2000 ミリ秒）は、圧縮が不要になった後（入力レベルがしきい値レベルを下回った場合）、コンプレッサーが出力レベルを入力レベルと同じにするのにかかる時間です。

エキスパンダー

エキスパンダーを使用して、バックグラウンドノイズを減らすことができます。

コンプレッサーと同様にゲインリダクションを適用することにより、オーディオ信号のレベルを下げますが、しきい値を超えるのではなく、しきい値が下回ります。

しきい値コントロールは、それを下回ると拡張が行われるレベルを設定します。オーディオ信号がしきい値レベルを超えている場合、オーディオ信号のゲインは低下しません。オーディオ信号がしきい値を下回ると、オーディオ信号のゲインが一定の比率で減少します（詳細については「比率」を参照）。

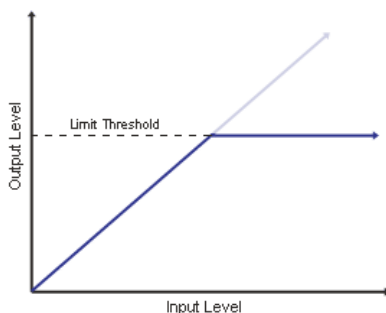
AD-300 は、-66~-48dBu のしきい値範囲を提供します。

これを OFF に設定すると、expander.ying のゲイン低下がコンプレッサーと同様に無効になります。これを ON に設定すると、しきい値を超えては、しきい値を下げます。

比率は、オーディオ信号がしきい値レベルを下回ったときにエクスパンダーが適用するゲインリダクションの量を決定します。たとえば、比率が 4 : 1 の場合、入力信号がしきい値を 1 dB 下回ると、エクスパンダーからの出力信号はしきい値より 4dB 低くなります。

AD-300 で使用可能な比率は次のとおりです。

- 1 : 1
- 1.6 : 1
- 2 : 1
- 4 : 1
- 8 : 1
- 16 : 1
- 32 : 1
- 64 : 1
- 100 : 1



アタックタイム（50~500 ミリ秒）は、オーディオレベルがしきい値を下回った後、エクスパンダーがゲインを下げ始める速度を設定します。
減衰時間またはリリース時間（300~2000 ミリ秒）は、レベルがしきい値を超えた後、エクスパンダーが効果を発揮しなくなるまでの時間を設定します。

リミッター

リミッターは、オーディオ信号を特定のしきい値に制限します。コンプレッサーがしきい値を超えるゲインをスムーズに低減する一方で、リミッターはしきい値を超える追加のゲインを完全に防ぎます。

下のグラフは、無限大と 1 の制限比を示しています。
しきい値（-6 ~ +24 dBu）は、リミッターがアクティブになる信号レベルです。
OFF に設定すると、リミッターが無効になります。
アタックタイム（50~500 ミリ秒）はリミッターの反応時間です。
リミッターのアタックタイムは、通常のコンプレッサーよりもはるかに高速です。

※注意：

減衰時間または解放時間（300~2000 ミリ秒）は、リミッターがゼロ圧縮に戻るのにかかる時間です。

ゲート

ノイズゲートは、しきい値を下回るとオーディオ信号をミュートします。

したがって、ノイズを低減するために使用できます。

しきい値 (-88 - -28 dBu) は、ゲートがアクティブになる信号レベルです。

OFF に設定すると、リミッターが無効になります。

アタックタイム (50～500 ミリ秒) はゲートの反応時間であり、

入力信号レベルの変化にノイズゲートが反応する速度を決定します。

減衰時間またはリリース時間 (300～2000 ミリ秒) は、入力信号レベルがしきい値を超えた後、ゲートが効果を発揮しなくなるまでの時間を決定します。

フィルター

ダイナミックエフェクトの他に、AD-300 は高周波数または低周波数のいずれかを通過させるオーディオフィルターも提供します。

ローパスフィルターは、カットオフ周波数 (しきい値周波数) を超えるコンテンツを減衰させ、より低い周波数がフィルターを通過できるようにします。

ハイパスフィルターは、カットオフ周波数 (しきい値周波数) 未満のコンテンツを減衰させ、より高い周波数がフィルターを通過できるようにします。

システム

このサブメニューを選択して、システム設定を調整します。

使用可能なオプションは次のとおりです。

- ①Bright は、LCD 画面の明るさを 5～100% の範囲で設定します。
- ②ディマーは、LCD 画面が暗くなるまでのアイドル時間を設定します。
- ③LVD OSD は、音量バーの表示をオン/オフします。
- ④dBu OSD は、dBu ユニットの表示をオン/オフします。
- ⑤LCD TEST を使用すると、LCD 画面の背景色を変更できます。
使用可能な色は、赤、緑、青、黒、または白です。
- ⑥UPDATE SW は、デバイスのファームウェアをアップグレードします。
詳細については、ファームウェアの更新を参照してください。
- ⑦RESET ALL は、工場出荷時のデフォルトに戻します。
- ⑧出力 VR ロックを有効にすると、ヘッドフォンの音量調節ノブがロックされ、意図しない音量変化を防ぎます。
- ⑨ESCAPE を選択して終了し、メインメニューに戻ります

ファームウェアの更新

Datavideo は、新しい機能やバグ修正を含む新しいファームウェアを随時リリースします。

お客様は、AD-300 ファームウェアを必要に応じてダウンロードするか、

最寄りの販売店または再販業者にサポートを依頼することができます。

このセクションでは、ファームウェアのアップグレードプロセスの概要を説明します。

このプロセスは、完了するまでに約数分かかります。

AD-300 の設定は、ファームウェアのアップグレードを通じて維持される必要があります。

これは、ユニットが応答しなくなる可能性があるため、一度開始すると中断されないようにする必要があります。

必要な工具

- ・ OTG ケーブル：メスの USB-オスのミニ USB ケーブル
- ・ USB フラッシュメモリー<16GB
- ・ 最新のファームウェアファイル（製品ページからダウンロードできます）

手順

1. 最新のファームウェアファイルを USB フラッシュメモリーにコピーします。

●ファイル名：A300FGA.BIN

2. USB フラッシュメモリーを OTG ケーブルの USB 側に接続し、

OTG ケーブルのミニ USB 側を AD-300 に接続します。

3. デバイスの電源をオンにします。

4. MENU SETTING ノブを押し、以下のメニューパスに従ってファームウェアのアップグレードを開始します。

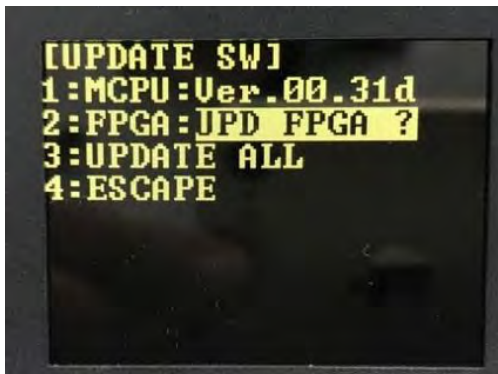
●[メニュー]→[システム]→[SW の更新]

5. 「FPGA」を選択して FPGA ファームウェア (A300FGA.BIN) のみをアップグレードするか、

「UPDATEALL」を選択して FPGA と MCU ファームウェア

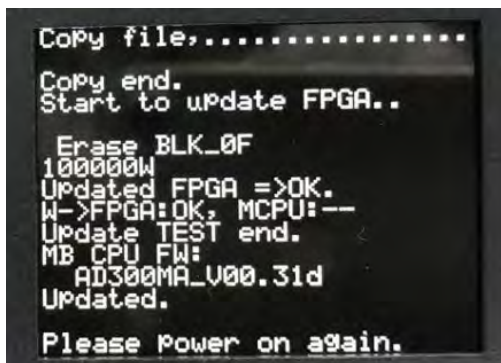
(A300FPGA.BIN / A300MCPU.BIN) を

同時にアップグレードします。

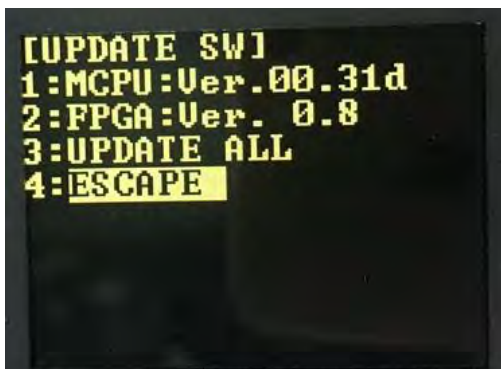


6. ファームウェアが正常にアップグレードされると、LCD 画面に次のように表示されます。

OTG ケーブルを取り外し、デバイスを再起動します

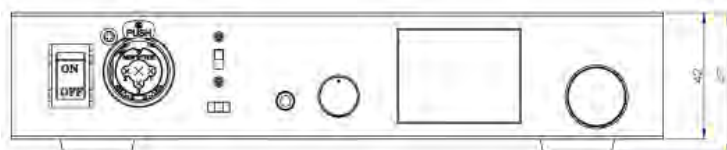
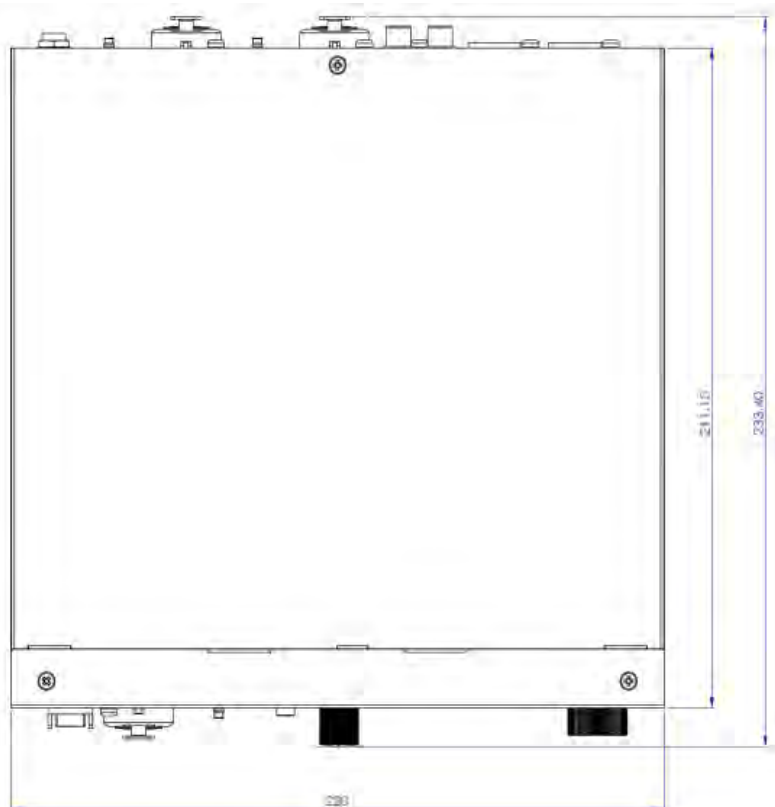
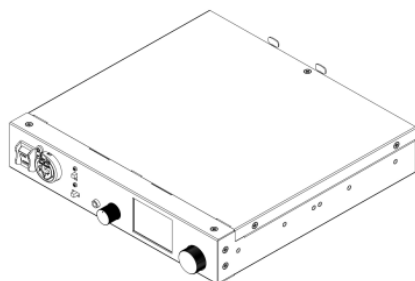


7. 最後に、ファームウェアのバージョンを確認します。



寸法

単位：ミリメートル（mm）



仕様

インターフェイス		
オーディオ入力		3x バランスステレオオーディオ/マイク (3 ピン XLR / 1/4 インチ (6.3mm) ソケット) 2 x アンバランスステレオオーディオ、RCA ソケット
オーディオ出力		2 x バランスステレオオーディオ、XLR コネクタ 2 x アンバランスステレオオーディオ、RCA ソケット
ヘッドフォン		ポリウムコントロール付き 1x3.5mm ステレオヘッドフォン
ディスプレイ		2 インチ LCD スクリーン
MIC ゲイン/ LINE スイッチ		MIC ファンタム電源 : 48V (ON / OFF) MIC + 40dB / MIC + 20dB / LINE
ファームウェアアップデート		Mini USB
電源		DC12V 2A
オーディオ仕様		
オーディオディレイ		最大 3000ms
出力最大レベル		+24 dBu
ライン 入力 (XLR)	帯域幅	20Hz~20KHz < +/- 3dB
	S / N 比	80 dB @1KHz, 14dBu (signal level)
	T.H.D.	0.01% @1KHz,14dBu
	アイソレーション	75dB
ライン 入力 (RCA)	帯域幅	20Hz~20KHz < +/- 3dB
	S / N 比	80 dB @1KHz, 0dBv (signal level)
	T.H.D.	0.01% @1KHz,0dBv
	アイソレーション	75dB
マイク入力 (XLR)	帯域幅	20Hz~20KHz < +/- 3dB
	S / N 比	75 dB @1KHz, +20dB gain 70 dB @1KHz, +40dB gain
	T.H.D.	0.03% @1KHz, +20dB gain 0.5% @1KHz, +40dB gain
	アイソレーション	75dB @+20dB gain 70dB @+40dB gain
オーディオプロセッサ		

コンプレッサー	YES
リミッター	YES
ゲート	YES
エキスパンダー	Yes
イコライザー	YES
フィルター	YES
ディレイ	YES
全 般	
作動温度	0°C - 40°C
保管温度	-20°C - 60°C
湿度	10% - 80%
寸法 (mm)	205mm (W) x 235mm (D) x 45mm (H)
重さ	1.3 Kg

サポート窓口

datavideo JAPAN

株式会社 M&Inext datavideo 事業部

〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町 2-7-10 関内フレックスビル 210

TEL: 045-415-0203 FAX: 045-415-0255

MAIL: service@datavideo.jp URL: <http://www.datavideo.jp/>

datavideo は Datavideo Technologies Co., Ltd の登録商標です。

本書を権利者の許可なく配布、インターネットでの公開等を行うことは著作権法上禁止されております。

日本語訳・制作・著作 株式会社 M&Inext

2022 年 11 月 14 日改訂